

**第 64 回中国・四国精神神経学会  
第 47 回中国・四国精神保健学会**

**特別講演、ランチョンセミナー  
プログラム**



特別講演、ランチョンセミナー／プログラム

第 1 日目 2024 年 11 月 15 日 (金)

■ランチョンセミナー① 12:00～13:00 第 1 会場／かがわ国際会議 (6 階)

座長：中村 祐 (香川大学医学部 精神神経医学講座 教授)

講演 1：「新しい薬物治療と対応」

演者 1：中村 祐 (香川大学医学部 精神神経医学講座 教授)

講演 2：「抗 A $\beta$  抗体レケンビによるアルツハイマー病の新たな治療戦略」

演者 2：小野 賢二郎 (金沢大学医薬保健研究域 脳神経内科学 教授)

共催：エーザイ株式会社／バイオジェン・ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー② 12:00～13:00 第 2 会場／第 2 小ホール (5 階)

「AI 時代の精神科医療の展望」

座長：高江洲 義和 (琉球大学精神病態医学講座 教授)

演者：岸本 泰士郎 (慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座 特任教授)

共催：持田製薬株式会社／田辺三菱製薬株式会社

■ランチョンセミナー③ 12:00～13:00 第 3 会場／54 会議室 (5 階)

「精神科医が知っておきたい脳とお腹の関係～ Gut-Brain Axis 最前線～」

座長：三船 義博 (医療法人社団三愛会 三船病院 院長)

演者：酒本 真次 (岡山大学病院 精神科神経科 講師)

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

■特別講演 15:00～16:10 第 1 会場／かがわ国際会議場 (6 階)

「精神科医療を取り巻く環境の変化」

座長：佐藤 仁 (医療法人社団五色会 理事長／こころの医療センター五色台 院長)

講師：山崎 學 (公益社団法人 日本精神科病院協会 会長)

ランチョンセミナー／プログラム

第 2 日目 2024 年 11 月 16 日 (土)

■ランチョンセミナー④ 12:00～13:00 第 1 会場／かがわ国際会議場 (6 階)

「認知症施策のこれまでとこれから」

座長：石津 秀樹 (公益財団法人慈圭会 慈圭病院 副院長)

演者：石井 伸弥 (メープルヒル病院 院長)

共催：興和株式会社

■ランチョンセミナー⑤ 12:00～13:00 第 2 会場／第 2 小ホール (5 階)

「アルツハイマー型認知症治療の新たな選択肢

～本邦唯一の適応を取得したレキサルティの BRIDGE 試験紹介～」

座長：渡邊 朋之 (医療法人以和貴会 いわき病院 院長)

演者：中村 祐 (香川大学医学部 精神神経医学講座 教授)

共催：大塚製薬株式会社

■ランチョンセミナー⑥ 12:00～13:00 第 3 会場／54 会議室 (5 階)

座長：佐藤 仁 (医療法人社団五色会 理事長／こころの医療センター五色台 院長)

講演 1：「統合失調症の薬物療法で、なぜラツータを選ぶのか」

演者 1：渡邊 佑一郎 (医療法人社団玉藻会 馬場病院 副院長)

講演 2：「使用経験から視えてきたロナセンテープの価値～患者・家族・医療者の声～」

演者 2：牧 徳彦 (医療法人篤友会 牧病院 院長)

共催：住友ファーマ株式会社

■ランチョンセミナー⑦ 12:00～13:00 第 4 会場／61 会議室 (6 階)

「気分障害における遅発性ジスキネジアの予防とバルベナジンの役割」

座長：伊藤 嘉信 (香川県立 丸亀病院 院長)

演者：伊賀 淳一 (国立大学法人愛媛大学大学院医学系研究科 准教授)

共催：田辺三菱製薬株式会社／ヤンセンファーマ株式会社

# 第 64 回中国・四国精神神経学会

一般演題 プログラム



## 第 64 回中国・四国精神神経学会プログラム

第 1 日目 2024 年 11 月 15 日 (金)

第 1 会場/かがわ国際会議場 (6 階)

9:00 ~ 受付開始

9:30 ~ 開会式

一般演題

精：認知症①

座長 石原武士 (川崎医科大学)

---

- 1 9:40 ~ 9:50 **高齢発症の意味性認知症が疑われた一例**  
高知大学医学部神経精神科学教室  
○下條 将輝、赤川 美貴、小笠原 梨湖、藤戸 良子、津田 敦、赤松 正規、  
数井 裕光
- 2 9:50 ~ 10:00 **電子カルテから抽出した特徴的な単語により認知症の診断を補助する方法の検討**  
<sup>1</sup>香川県立丸亀病院  
<sup>2</sup>香川大学医学部精神神経医学講座  
○松村 義人<sup>1</sup>、伊藤 嘉信<sup>1</sup>、中村 祐<sup>2</sup>
- 3 10:00 ~ 10:10 **幻視、被害妄想で発症し、経過中にせん妄を呈した  
psychiatric-onset prodromal DLB の 1 例**  
広島市立広島市民病院精神科  
○柴田 昌紀、高木 彬宏、石川 真悠子、皆尾 望、大賀 健市、和田 健
- 4 10:10 ~ 10:20 **Lewy 小体型認知症の進行に伴うレム睡眠行動障害の変化についての検討**  
<sup>1</sup>公立学校共済組合四国中央病院  
<sup>2</sup>香川大学医学部地域連携精神医学講座  
<sup>3</sup>島根大学名誉教授  
<sup>4</sup>香川大学医学部精神神経医学講座  
○新野 秀人<sup>1,2</sup>、堀口 淳<sup>3</sup>、石川 一朗<sup>4</sup>、中村 祐<sup>4</sup>

精：統合失調症

座長 中瀧理仁（徳島大学病院）

---

- 1 10:25～10:35 **抗精神病薬の副作用としては珍しいミオクローヌスを呈し、減薬によって副作用とともに精神症状も改善した統合失調症の一例**  
NHO 呉医療センター  
○木保 利宣、中西 勇輝、小田 渉、長尾 達憲、小林 弘典、町野 彰彦
- 2 10:35～10:45 **重篤な統合失調症例に対するリカバリーを目指す認知療法（Recovery-Oriented Cognitive Therapy：CT-R）の理解に基づく介入**  
医療法人社団吉田会吉田病院  
○吉田 玲夫、吉田 昌平
- 3 10:45～10:55 **統合失調症を併存する知的発達症の自傷や自殺企図を含む激しい行動化の継続的な抑制にトークンエコノミーが有効であった一例**  
<sup>1</sup>山口大学医学部附属病院精神科神経科  
<sup>2</sup>山口県立総合医療センター  
○原 佳那子<sup>1</sup>、萩原 康輔<sup>1</sup>、小林 正明<sup>2</sup>、原田 健一郎<sup>1</sup>、樋口 文宏<sup>1</sup>、  
中川 伸<sup>1</sup>

精：その他①

座長 藤戸良子（高知大学医学部）

---

- 1 11:00～11:10 **持続性知覚性姿勢誘発めまいに対し Vortioxetine を選択した経験**  
<sup>1</sup>香川大学医学部附属病院 精神科神経科  
<sup>2</sup>香川大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
○上野 祐介<sup>1</sup>、石川 一朗<sup>1</sup>、山中 真美<sup>1</sup>、高橋 幸稔<sup>2</sup>、中村 祐<sup>1</sup>
- 2 11:10～11:20 **入院での曝露反応妨害法により軽快した強迫症の1例**  
<sup>1</sup>岡山大学病院 精神科神経科  
<sup>2</sup>岡山大学病院 小児科  
<sup>3</sup>岡山大学病院 臨床心理センター  
○中西 一秀<sup>1</sup>、半澤 愛<sup>2</sup>、山口 恵<sup>3</sup>、三木 知子<sup>1</sup>、千田 真友子<sup>1</sup>、  
酒本 真次<sup>1</sup>、高木 学<sup>1</sup>
- 3 11:20～11:30 **情緒不安定性パーソナリティ障害として治療を行っていたがうまくいかず、途中で複雑性 PTSD に診断を変更し、少しずつ回復してきた 20 代女性**  
こころの医療センター五色台  
○間嶋 崇宏

## 第 64 回中国・四国精神神経学会プログラム

第 1 日目 2024 年 11 月 15 日 (金)

第 2 会場/第 2 小ホール (5 階)

精：児童①

座長 木戸瑞江 (香川大学医学部)

- 1 9:40 ~ 9:50 **強迫性障害を合併したドウ・ラ・トゥレット症候群の一例**  
徳島大学病院 精神科神経科  
○吉田 慧司、松田 宙也、山田 直輝、中瀧 理仁、沼田 周助
- 2 9:50 ~ 10:00 **トークン・エコノミー法を用いて行動変容が見られた行動障害を呈する一例**  
国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター  
○一宮 俊文、増田 太利志、福岡 亮介、中土井 芳弘
- 3 10:00 ~ 10:10 **統合失調症初発が疑われた強迫性障害の一症例**  
こころの医療センター五色台  
○井手 雅紀、佐藤 仁、間嶋 崇宏
- 4 10:10 ~ 10:20 **小児期における摂食障害患者とその他の疾患の入院期間に関する検討**  
<sup>1</sup>香川大学医学部精神科神経科  
<sup>2</sup>香川大学医学部附属病院精神科神経科  
<sup>3</sup>香川大学医学部地域連携精神医学講座  
<sup>4</sup>香川大学医学部臨床心理学科精神医学  
○中村 祐<sup>1</sup>、木戸 瑞江<sup>2</sup>、篠原 朝美<sup>2</sup>、上野 祐介<sup>2</sup>、野口 勝宏<sup>2</sup>、  
樋笠 直哉<sup>2</sup>、山中 真美<sup>2</sup>、今井 秀記<sup>2</sup>、石川 一郎<sup>2</sup>、森 崇洋<sup>3</sup>、角 徳文<sup>4</sup>

精：児童②

座長 梅原英裕 (徳島大学病院)

- 1 10:25 ~ 10:35 **摂食障害患者における小児期と成人期の入院期間に関する検討**  
<sup>1</sup>香川大学医学部附属病院精神科神経科  
<sup>2</sup>香川大学医学部地域連携精神医学講座  
<sup>3</sup>香川大学医学部臨床心理学科精神医学  
○木戸 瑞江<sup>1</sup>、篠原 朝美<sup>1</sup>、上野 祐介<sup>1</sup>、野口 勝宏<sup>1</sup>、山中 真美<sup>1</sup>、  
今井 秀記<sup>1</sup>、石川 一郎<sup>1</sup>、森 崇洋<sup>2</sup>、角 徳文<sup>3</sup>、中村 祐<sup>1</sup>
- 2 10:35 ~ 10:45 **高知県・高知市病院企業団立高知医療センター児童精神科外来における  
オープンダイアログ的手法を用いた取り組み**  
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター  
○中村 朔也、永野 志歩、山路 由夏、松下 亜由美、山本 大介、北代 晶帆、  
船越 祥子、土田 亜希、澤田 健
- 3 10:45 ~ 10:55 **躁状態の父親を目の当たりにし、解離性障害を発症した思春期女性の一例**  
近森病院総合心療センター  
○小松 大祐、戎 正司、明神 和弘、尾花 智、森 学美、山下 高明

精：摂食障害

座長 大舘孝治（島根大学医学部）

---

- 1 11:00～11:10 **入院治療中に緑膿菌菌血症を発症した神経性無食欲症の1例**  
<sup>1</sup>徳島県立中央病院  
<sup>2</sup>独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター  
<sup>3</sup>徳島大学病院  
○石本 良祐<sup>1</sup>、増田 太利志<sup>2</sup>、中瀧 理仁<sup>3</sup>、沼田 周助<sup>3</sup>
  
- 2 11:10～11:20 **栄養療法中に食事が低下したが、食事量リセットにより再度完食が可能となり、目標体重を達成した神経性無食欲症の1例**  
<sup>1</sup>香川大学医学部附属病院 精神科神経科  
<sup>2</sup>香川県立丸亀病院  
<sup>3</sup>香川大学医学部精神神経医学講座  
<sup>4</sup>香川大学医学部地域連携精神医学講座  
<sup>5</sup>香川大学医学部臨床心理学科精神医学  
○山中 真美<sup>1</sup>、木曾田 大<sup>2</sup>、上野 祐介<sup>3</sup>、野口 勝宏<sup>3</sup>、樋笠 直哉<sup>3</sup>、  
木戸 瑞江<sup>3</sup>、今井 秀記<sup>3</sup>、石川 一朗<sup>3</sup>、森 崇洋<sup>4</sup>、角 徳文<sup>5</sup>、中村 祐<sup>3</sup>
  
- 3 11:20～11:30 **慢性化した神経性やせ症の1例**  
松江市立病院精神神経科  
○朴 盛弘、木山 典子、板倉 征史

精：気分障害①

座長 森 崇洋（香川大学医学部）

---

- 1 13:30～13:40 **当院における rTMS 療法導入後のまとめ 第2報**  
社会医療法人明和会医療福祉センター 渡辺病院  
○高橋 和彦、久保 なな、有馬 那帆、佐々木 彩、助川 鶴平、渡辺 憲
  
- 2 13:40～13:50 **パーキンソン病とうつ病の鑑別に苦慮した抑うつ気分の2例**  
岡山大学病院精神科神経科  
○山口 望、大矢 芳男、李 大賢、酒本 真次、高木 学
  
- 3 13:50～14:00 **亜昏迷状態に対して電気けいれん療法を行う予定の患者に偶発的に慢性硬膜下血腫が発見された1例**  
徳島大学病院  
○上山 佑一郎、吉田 朋広、山田 直輝、中瀧 理仁、沼田 周助

第 2 日目 2024 年 11 月 16 日 (土)

第 1 会場/かがわ国際会議場 (6 階)

一般演題

精：認知症②

座長 上村直人 (高知大学医学部)

- 1 9:45～ 9:55 **レビー小体型認知症の夕暮れ症候群に対してラメルテオンが著効した一例**  
<sup>1</sup>香川大学医学部精神神経医学講座  
<sup>2</sup>香川大学医学部地域連携精神医学講座  
<sup>3</sup>香川大学医学部臨床心理学科精神医学  
 ○三好 淳也<sup>1</sup>、石川 一郎<sup>1</sup>、上野 祐介<sup>1</sup>、野口 勝宏<sup>1</sup>、樋笠 直哉<sup>1</sup>、  
 木戸 瑞江<sup>1</sup>、山中 真美<sup>1</sup>、森 崇洋<sup>2</sup>、今井 秀記<sup>1</sup>、角 徳文<sup>3</sup>、中村 祐<sup>1</sup>
- 2 9:55～10:05 **認知症患者の身体疾患に対する治療選択で難渋した一例**  
 県立広島病院  
 ○松岡 利典、住吉 秀律、竹林地 郁、工藤 昇馬、安田 由美、高畑 紳一
- 3 10:05～10:15 **アルツハイマー型認知症が疑われたがアミロイド PET 検査で陰性であった 2 症例**  
<sup>1</sup>香川大学医学部 精神神経医学講座  
<sup>2</sup>香川大学医学部 地域連携精神医学講座  
<sup>3</sup>香川大学医学部 臨床心理学科 精神医学  
 ○野口 勝宏<sup>1</sup>、石川 一郎<sup>1</sup>、森 崇洋<sup>2</sup>、大川 健太<sup>2</sup>、上野 祐介<sup>1</sup>、  
 樋笠 直哉<sup>1</sup>、木戸 瑞江<sup>1</sup>、山中 真美<sup>1</sup>、今井 秀記<sup>1</sup>、角 徳文<sup>3</sup>、中村 祐<sup>1</sup>
- 4 10:15～10:25 **レカネマブで重度 (Grade3) の Infusion reaction を呈した一例**  
<sup>1</sup>香川大学医学部地域連携精神医学講座  
<sup>2</sup>香川大学医学部精神神経医学講座  
<sup>3</sup>香川大学医学部臨床心理学科精神医学  
 ○森 崇洋<sup>1</sup>、大屋 貴明<sup>2</sup>、石川 一郎<sup>2</sup>、野口 勝宏<sup>2</sup>、樋笠 直哉<sup>2</sup>、  
 大川 健太<sup>1</sup>、佐々木 皓大<sup>1</sup>、木戸 瑞江<sup>2</sup>、山中 真美<sup>2</sup>、角 徳文<sup>3</sup>、  
 中村 祐<sup>2</sup>

精：気分障害②

座長 宮崎哲治（川崎医科大学）

---

- 1 10:30～10:40 **腎性尿崩症の出現により炭酸リチウムの使用を中止し、カルバマゼピンにて躁病エピソードの改善がみられた双極症の一例**  
愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学  
○浅井 雅彦、立花 亜由美、越智 紳一郎、伊賀 淳一、上野 修一
  
- 2 10:40～10:50 **反復性精神病性うつ病の昏迷状態に対し少量のベンゾジアゼピン系薬剤投与が著効した1例**  
<sup>1</sup>徳島県立中央病院 精神科  
<sup>2</sup>徳島県立中央病院  
○野田 尚吾<sup>1</sup>、松本 直樹<sup>2</sup>、石本 良祐<sup>2</sup>、長江 雄浩<sup>2</sup>、橋本 直子<sup>2</sup>、中平 仁<sup>2</sup>、大森 隆史<sup>2</sup>
  
- 3 10:50～11:00 **精神病性うつ病の経過中に、パーキンソン病の診断に至った一例**  
<sup>1</sup>NHO 呉医療センター 初期研修医  
<sup>2</sup>NHO 呉医療センター 精神科  
○碓塚 有希<sup>1</sup>、小田 渉<sup>2</sup>、中西 勇輝<sup>2</sup>、木保 利宣<sup>2</sup>、長尾 達憲<sup>2</sup>、小林 弘典<sup>2</sup>、町野 彰彦<sup>2</sup>

精：気分障害③

座長 伊賀淳一（愛媛大学大学院医学系研究科）

---

- 1 11:05～11:15 **大脳白質病変による器質性幻覚症を伴った反復性うつ病性障害の1例**  
徳島大学病院精神科神経科  
○鈴木 耕一郎、塩田 恭史、山田 直輝、中瀧 理仁、沼田 周助
  
- 2 11:15～11:25 **アリピプラゾール投与後に著明なパーキンソニズムを呈した双極性障害の1例**  
<sup>1</sup>大慈会 三原病院  
<sup>2</sup>広島大学病院 精神科  
○新村 隼<sup>1</sup>、岡田 剛<sup>2</sup>、小山田 孝裕<sup>1</sup>
  
- 3 11:25～11:35 **拒食・拒薬を呈し治療に難渋したうつ病患者の一例**  
<sup>1</sup>高知赤十字病院  
<sup>2</sup>高知大学医学部神経精神科学講座  
○赤尾 玲実<sup>1</sup>、赤尾 敦<sup>2</sup>、赤松 正規<sup>2</sup>、津田 敦<sup>2</sup>、數井 裕光<sup>2</sup>

精：器質③

座長 倉田明子（広島大学病院）

---

- 1 13:30～13:40 **診断と治療に難渋した昏迷にエシタロプラムが著効した1例**  
<sup>1</sup>高知県立あき総合病院  
<sup>2</sup>高知大学医学部 神経精神科学教室  
<sup>3</sup>高知大学医学部 内分泌代謝・腎臓内科  
<sup>4</sup>高知大学医学部 透析部  
○谷脇 肇<sup>1</sup>、津田 敦<sup>2</sup>、樫尾 岳<sup>3</sup>、松本 竜季<sup>4</sup>、赤松 正規<sup>2</sup>、數井 裕光<sup>2</sup>
  
- 2 13:40～13:50 **プレガバリン服用により精神障害を来たした一例**  
高知県立あき総合病院  
○山田 眞子、峯瀬 正祥、藤 美佳子
  
- 3 13:50～14:00 **老年期精神疾患における brexpiprazole の使用経験**  
和恒会 ふたば病院  
○今中 章弘、高見 浩、福本 拓治、小鶴 俊郎、田中 敬治、坂尾 良一、  
織田 一衛
  
- 4 14:00～14:10 **急性に昏迷状態を呈し自然に回復した橋本脳症の1例**  
<sup>1</sup>岡山大学病院 精神科神経科  
<sup>2</sup>岡山大学病院学術研究院 医歯薬学域 精神神経病態学  
○矢野 峻伍<sup>1</sup>、辻野 修平<sup>1</sup>、竹之下 慎太郎<sup>1</sup>、酒本 真次<sup>1</sup>、高木 学<sup>2</sup>

第 2 日目 2024 年 11 月 16 日 (土)

第 2 会場/第 2 小ホール (5 階)

精：器質①

座長 山梨豪彦 (鳥取大学医学部)

- 
- 1 9:45～9:55 双極性感情障害と誤診した側頭葉てんかんの一例  
こころの医療センター五色台  
○三竿 慧祐、小野 憲爾、佐藤 仁
- 2 9:55～10:05 活発な精神症状の後に良好な経過をたどった脳炎後症候群の 1 例  
医療法人社団五色会 こころの医療センター五色台  
○岩崎 大知、佐藤 仁、間嶋 崇宏
- 3 10:05～10:15 うつ病による重昏迷を疑われたが、ビタミン B1 欠乏症が発覚した胃切除後患者の一例  
<sup>1</sup>香川大学精神科神経科  
<sup>2</sup>香川大学医学部精神神経医学講座  
<sup>3</sup>香川大学医学部地域連携精神医学講座  
<sup>4</sup>香川大学医学部臨床心理学科精神医学  
○草薙 諒一郎<sup>1</sup>、石川 一朗<sup>2</sup>、上野 祐介<sup>2</sup>、野口 勝宏<sup>2</sup>、樋笠 直哉<sup>2</sup>、  
木戸 瑞江<sup>2</sup>、山中 真美<sup>2</sup>、森 崇洋<sup>3</sup>、今井 秀記<sup>2</sup>、角 徳文<sup>4</sup>、中村 祐<sup>2</sup>
- 4 10:15～10:25 長期的な高圧酸素療法により明らかな改善を示した間歇型一酸化炭素中毒の一例  
<sup>1</sup>県立広島病院  
<sup>2</sup>呉医療センター  
○東原 千耶子<sup>1</sup>、工藤 昇馬<sup>1</sup>、小田 渉<sup>2</sup>、安田 由美<sup>1</sup>、住吉 秀律<sup>1</sup>、  
高畑 紳一<sup>1</sup>

精：器質②

座長 松原敏郎（山口大学医学部）

---

- 1 10:30～10:40 **解離性昏迷として入院した30代女性に著明なビタミンB1欠乏を認めた一例**  
<sup>1</sup>香川大学医学部精神神経医学講座  
<sup>2</sup>香川大学医学部地域連携精神医学講座  
<sup>3</sup>香川大学医学部臨床心理学科精神医学  
○大屋 貴明<sup>1</sup>、森 崇洋<sup>2</sup>、上野 祐介<sup>1</sup>、野口 勝宏<sup>1</sup>、樋笠 直哉<sup>1</sup>、  
木戸 瑞江<sup>1</sup>、山中 真美<sup>1</sup>、石川 一朗<sup>1</sup>、今井 秀記<sup>1</sup>、角 徳文<sup>3</sup>、中村 祐<sup>1</sup>
- 2 10:40～10:50 **たこつぼ型心筋症を合併し、無症候性脳梗塞を来した重症リチウム中毒の一例**  
広島市立広島市民病院  
○皆尾 望、柴田 昌紀、石川 真悠子、高木 彬宏、大賀 健市、和田 健
- 3 10:50～11:00 **せん妄に合併したレストレスレッグス症候群の一例**  
<sup>1</sup>香川大学医学部精神神経医学講座  
<sup>2</sup>香川大学医学部地域連携精神医学講座  
<sup>3</sup>香川大学医学部臨床心理学科精神医学  
○石川 一朗<sup>1</sup>、上野 祐介<sup>1</sup>、野口 勝宏<sup>1</sup>、樋笠 直哉<sup>1</sup>、木戸 瑞江<sup>1</sup>、  
山中 真美<sup>1</sup>、森 崇洋<sup>2</sup>、今井 秀記<sup>1</sup>、角 徳文<sup>3</sup>、中村 祐<sup>1</sup>

精：その他②

座長 石川一朗（香川大学医学部）

---

- 1 11:05～11:15 **幻覚・妄想状態を呈した発達障害の1症例**  
<sup>1</sup>島根大学医学部 精神医学講座  
<sup>2</sup>特定医療法人 恵和会 石東病院  
<sup>3</sup>社会医療法人 清和会 西川病院  
○長濱 道治<sup>1</sup>、河野 公範<sup>1</sup>、北川 有希<sup>1</sup>、山内 真喜夫<sup>1</sup>、飯島 慶郎<sup>2</sup>、  
槻宅 雅史<sup>3</sup>、正岡 浩<sup>1</sup>、三原 靖葉<sup>1</sup>、林 茉衣<sup>1</sup>、伊藤 司<sup>1</sup>、佐藤 皓平<sup>1</sup>、  
山下 智子<sup>1</sup>、林田 麻衣子<sup>1</sup>、岡崎 四方<sup>1</sup>、大舘 孝治<sup>1</sup>、和氣 玲<sup>1</sup>、  
稲垣 正俊<sup>1</sup>
- 2 11:15～11:25 **単科精神科病院における身体的急変による緊急搬送事例のNEWS  
(National Early Warning Score) と転帰について**  
<sup>1</sup>島根県立中央病院  
<sup>2</sup>島根県立こころの医療センター  
○佐藤 弘樹<sup>1</sup>、高尾 碧<sup>2</sup>、挾間 玄以<sup>2</sup>
- 3 11:25～11:35 **能登半島地震における当院の香川県 DPAT 隊としての活動について**  
医療法人社団 光風会 三光病院  
○山本 遼、八木 友幸、筒井 亮介、山越 恭平、山田 純平、海野 順



# 第 47 回中国・四国精神保健学会

一般演題 プログラム



## 第 47 回中国・四国精神保健学会プログラム

第 1 日目 2024 年 11 月 15 日 (金)

第 3 会場 / 54 会議室 (5 階)

一般演題

保：認知症①

座長 山本雅也 (いわき病院)

---

- 1 9:40～9:50 重度認知症者における表情や他者交流に変化が見られた一例  
－重度認知症者向け QOL 評価 QUALID-J を使用して－  
医療法人養和会 養和病院  
○築谷 希美世
- 2 9:50～10:00 食に問題がある認知症患者への取り組みについて  
医療法人社団中和会 西紋病院  
○増田 仁美、勝部 晃子、高橋 志宝、太田 桃香、香川 七海、秋山 芙希、  
西紋 孝一
- 3 10:00～10:10 認知症高齢者のバウムテストの特徴  
<sup>1</sup>香川大学医学部精神神経医学  
<sup>2</sup>西香川病院  
○篠原 朝美<sup>1</sup>、木戸 瑞江<sup>1</sup>、石川 一朗<sup>1</sup>、森 崇洋<sup>1</sup>、大塚 智丈<sup>2</sup>、中村 祐<sup>1</sup>

保：認知症②

座長 三好英治 (西紋病院)

---

- 1 10:15～10:25 高次脳機能障害を伴うアルツハイマー型認知症患者のケア：  
Locsin のケアリング理論を用いた振り返り  
医療法人社団三愛会 三船病院  
○氏家 翔子、徳田 真治、渡邊 留里子
- 2 10:25～10:35 認知症高齢者相談援助における臨床能力向上の試み  
～医療人文学に学ぶ帰宅願望の意味会釈を通して～  
特定医療法人 万成病院  
○増田 準
- 3 10:35～10:45 認知症治療病棟におけるケアスタッフのパーソンセンタードケアの実践に対する  
意識調査  
<sup>1</sup>特定医療法人大慈会 三原病院  
<sup>2</sup>県立広島大学保健福祉学部  
○田口 貞治<sup>1</sup>、西田 征治<sup>2</sup>、藤田 志穂<sup>1</sup>

保：その他

**座長** 三嶋良広 (赤沢病院)

---

- 1 10:50～11:00 **インターネット・ゲーム依存傾向の現状把握と介入の考察**  
香川大学医学部 精神神経医学講座  
○今井 元春、篠原 朝美、木戸 瑞江、中村 祐
  
- 2 11:00～11:10 **香川大学医学部附属病院における精神科リエゾンチーム活動  
～公認心理師と他職種の連携・協働を中心に～**  
<sup>1</sup>香川大学医学部医療支援課  
<sup>2</sup>香川大学医学部附属病院薬剤部  
<sup>3</sup>香川大学医学部附属病院看護部  
<sup>4</sup>香川大学医学部精神神経医学講座  
○藤沢 直美<sup>1</sup>、定田 真由美<sup>2</sup>、住吉 健太<sup>2</sup>、森 郁代<sup>3</sup>、三好 淳也<sup>4</sup>、  
石川 一朗<sup>4</sup>、中村 祐<sup>4</sup>
  
- 3 11:10～11:20 **総合病院における精神科病棟開設後の看護師の感情と行動の分析**  
地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立北部医療センター安佐市民病院  
○波多野 仁美、古賀 晴美、櫻本 輝美
  
- 4 11:20～11:30 **自殺対策の強化を行い、再企図なく治療を継続できている再発がん患者の一例**  
福山市民病院  
○森藤 優、岩本 渉

保：新型コロナ

**座長** 神余 孝 (しおかぜ病院)

---

- 1 13:30～13:40 **新型コロナウイルス禍における看護学生の看護技術習得に関する研究  
－技術習得状況に焦点を当てて－**  
<sup>1</sup>徳島大学医学部保健学科看護学専攻4年  
<sup>2</sup>徳島大学医学部保健学科看護学専攻  
<sup>3</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部看護技術学分野  
○野口 知星<sup>1</sup>、島尾 梨央<sup>2</sup>、清 綾音<sup>2</sup>、手塚 義樹<sup>2</sup>、中島 由衣<sup>2</sup>、  
平川 七彩<sup>2</sup>、安原 由子<sup>3</sup>、飯藤 大和<sup>3</sup>
  
- 2 13:40～13:50 **新型コロナウイルス禍が看護学生の侵襲度の高い看護技術の学習に与えた  
不安の分析**  
<sup>1</sup>徳島大学医学部保健学科看護学専攻  
<sup>2</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部看護技術学分野  
○中島 由衣<sup>1</sup>、平川 七彩<sup>1</sup>、手塚 義樹<sup>1</sup>、清 綾音<sup>1</sup>、野口 知星<sup>1</sup>、  
島尾 梨央<sup>1</sup>、飯藤 大和<sup>2</sup>、安原 由子<sup>2</sup>
  
- 3 13:50～14:00 **精神療養病棟での新型コロナウイルス感染者クラスター発生時における  
ストレス調査**  
特定医療法人恵和会石東病院  
○平木 雄太、奥 貴弘
  
- 4 14:00～14:10 **コロナクラスターを経験して**  
医療法人社団中和会 西紋病院  
○山本 剛誉、持田 優也、高田 亜矢佳、三好 英治

第 2 日目 2024 年 11 月 16 日 (土)

第 2 会場/第 2 小ホール (5 階)

保：慢性期医療

座長 藤野宣久 (馬場病院)

- 
- 1 13:30~13:40 **精神科長期入院患者における身体疾患の地域連携について**  
医療法人 光の会 重本病院  
○末永 祐樹、黒原 里沙、中村 良太郎、石田 賢次郎
  
  - 2 13:40~13:50 **精神科における長期入院患者への退院支援  
～疾患と上手く付き合いながら外で生活するには～**  
医療法人せのがわ 瀬野川病院  
○開作 真帆、雲津 春希
  
  - 3 13:50~14:00 **統合失調症患者群におけるフレイル状の評価時の困難点**  
<sup>1</sup>徳島大学医学部保健学科  
<sup>2</sup>徳島大学大学院保健科学研究科  
<sup>3</sup>医療法人社団 三愛会 三船病院  
<sup>4</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部  
○山本 萌香<sup>1</sup>、上田 乙羽<sup>1</sup>、河原 瑞穂<sup>1</sup>、穂山 隼也<sup>2</sup>、鴨居 鈴委子<sup>3</sup>、  
三船 義博<sup>3</sup>、片岡 睦子<sup>3</sup>、三船 和史<sup>3</sup>、谷岡 哲也<sup>4</sup>
  
  - 4 14:00~14:10 **50 歳以下の精神療養病棟に入院中の患者におけるフレイルおよび  
サルコペニアの検討**  
<sup>1</sup>徳島大学大学院保健科学研究科 保健学専攻  
<sup>2</sup>医療法人社団三愛会 三船病院  
<sup>3</sup>広島都市学園大学 健康科学部リハビリテーション学科  
<sup>4</sup>四国中央医療福祉総合学院  
<sup>5</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部  
○穂山 隼也<sup>1</sup>、江戸 晶子<sup>2</sup>、滝川 栄二<sup>2</sup>、鴨居 鈴委子<sup>2</sup>、谷岡 龍一<sup>3</sup>、  
Krishan Soriano<sup>1</sup>、佐藤 麻衣<sup>4</sup>、三船 義博<sup>2</sup>、三船 和史<sup>2</sup>、谷岡 哲也<sup>5</sup>

第 2 日目 2024 年 11 月 16 日 (土)

第 3 会場 / 54 会議室 (5 階)

保 : ケアリング

座長 三田 茜 (こころの医療センター五色台)

- |   |               |   |
|---|---------------|---|
| 1 | 9:45 ~ 9:55   | <p><b>医療職におけるケアリングとしての技術力の認識尺度の開発</b></p> <p><sup>1</sup>徳島大学大学院保健科学研究科 保健学専攻<br/> <sup>2</sup>徳島大学大学院保健科学研究科<br/> <sup>3</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部<br/> <sup>4</sup>藤田医科大学医学部<br/> <sup>5</sup>高知大学医学部看護学科</p> <p>○山中 梨沙<sup>1</sup>、宮川 操<sup>2</sup>、高島 佳之<sup>1</sup>、Krishan Soriano<sup>1</sup>、飯藤 大和<sup>3</sup>、<br/>         趙 岳人<sup>4</sup>、安原 由子<sup>3</sup>、大坂 京子<sup>5</sup>、谷岡 哲也<sup>3</sup></p> |
| 2 | 9:55 ~ 10:05  | <p><b>精神科看護におけるケアリングとしての技術力尺度の妥当性の検証</b></p> <p><sup>1</sup>梅花女子大学看護保健学部看護学科<br/> <sup>2</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部</p> <p>○高島 佳之<sup>1</sup>、谷岡 哲也<sup>2</sup>、安原 由子<sup>2</sup>、飯藤 大和<sup>2</sup></p>  |
| 3 | 10:05 ~ 10:15 | <p><b>看護におけるケアリングとしての技術力の理論を用いた現任教育の開発</b></p> <p><sup>1</sup>医療法人社団 三愛会 三船病院<br/> <sup>2</sup>高知大学医学部看護学科<br/> <sup>3</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部</p> <p>○片岡 睦子<sup>1</sup>、川田 知子<sup>1</sup>、三浦 幸子<sup>1</sup>、大坂 京子<sup>2</sup>、谷岡 哲也<sup>3</sup></p>  |
| 4 | 10:15 ~ 10:25 | <p><b>精神科病院における「看護におけるケアリングとしての技術力」理論に基づく看護管理者を対象とし現任教育の成果</b></p> <p><sup>1</sup>医療法人社団 三愛会 三船病院<br/> <sup>2</sup>高知大学医学部看護学科<br/> <sup>3</sup>梅花女子大学看護学科<br/> <sup>4</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部</p> <p>○三浦 幸子<sup>1</sup>、片岡 睦子<sup>1</sup>、川田 知子<sup>1</sup>、大坂 京子<sup>2</sup>、高島 佳之<sup>3</sup>、<br/>         谷岡 哲也<sup>4</sup></p>  |
| 5 | 10:25 ~ 10:35 | <p><b>精神科病院における看護師を対象とした「看護におけるケアリングとしての技術力」理論に関する現任教育の成果</b></p> <p><sup>1</sup>医療法人社団 三愛会 三船病院<br/> <sup>2</sup>高知大学医学部看護学科<br/> <sup>3</sup>梅花女子大学看護学科<br/> <sup>4</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部</p> <p>○廣田 多門<sup>1</sup>、片岡 睦子<sup>1</sup>、川田 知子<sup>1</sup>、三浦 幸子<sup>1</sup>、大坂 京子<sup>2</sup>、<br/>         高島 佳之<sup>3</sup>、谷岡 哲也<sup>4</sup></p>   |

保：精神科の治療

**座長** **西川政之（こころの医療センター五色台）**

---

- 1 10:40～10:50 **不登校を主訴に来談した発達障害グレーゾーンの男児への心理的介入**  
香川大学医学部 精神神経医学講座  
○嶋田 梨沙、篠原 朝美、森 崇洋、中村 祐
- 2 10:50～11:00 **最重度摂食障害患者への看護実践に関する一症例**  
川崎医科大学附属病院 11 階南  
○西森 美里、水田 美奈子、池田 暁子
- 3 11:00～11:10 **患者に対して音楽でのアプローチを試みる**  
医療法人社団 三和会 しおかぜ病院  
○横田 竜一、石原 健、山本 奈央弥
- 4 11:10～11:20 **家族の記憶が語る力に与える影響**  
医療法人水の木会萩病院  
○高村 美由紀、田村 奈央、富田 祐希、小野 信周
- 5 11:20～11:30 **外来における rTMS 療法診療体制構築までの取り組みのまとめ**  
社会医療法人 明和会医療福祉センター 渡辺病院  
○中川 久美子、西川 明衣、谷口 春美、木下 宏美、中垣 明美、山本 りえこ、  
山根 由佳、山本 真由美、川口 誠、西村 浩、久保 なな

保：リハビリ

**座長** **安西博章（こころの医療センター五色台）**

---

- 1 13:30～13:40 **精神科病院における身体リハビリテーションシステムの検討**  
<sup>1</sup>医療法人社団三愛会 三船病院  
<sup>2</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部  
○江戸 晶子<sup>1</sup>、合田 恭子<sup>1</sup>、滝川 栄二<sup>1</sup>、三船 義博<sup>1</sup>、鴨居 鈴委子<sup>1</sup>、  
三船 和史<sup>1</sup>、谷岡 哲也<sup>2</sup>
- 2 13:40～13:50 **統合失調症患者における歩行速度低下および立位姿勢異常に関する動作分析**  
<sup>1</sup>広島都市学園大学 健康科学部 リハビリテーション学科  
<sup>2</sup>高知大学医学部看護学科  
<sup>3</sup>医療法人社団三愛会三船病院  
<sup>4</sup>四国中央医療福祉総合学院  
<sup>5</sup>徳島大学大学院医歯薬研究部  
○谷岡 龍一<sup>1</sup>、大坂 京子<sup>2</sup>、鴨居 鈴委子<sup>3</sup>、三船 義博<sup>3</sup>、下元 理恵<sup>2</sup>、  
佐藤 麻衣<sup>4</sup>、三船 和史<sup>3</sup>、谷岡 哲也<sup>5</sup>
- 3 13:50～14:00 **衝動行為の激しい重度知的障害の患者への関わり  
－個別作業療法を行うことで関係性を築く－**  
医療法人仁康会小泉病院  
○金丸 大助、浜田 千恵子、道面 和佳、竹玄 圭吾、西原 武志、杉江 拓也
- 4 14:00～14:10 **院内デイケア実施フロアの看護師の意識調査**  
高知医療センター  
○木村 義孝、松木 愛、山路 由夏